

### 3 1 東京ボランティア・市民活動センター

行動計画記載の内容等
<p><b>1 男女が共に参加できるボランティア、市民活動の情報提供と相談活動を推進する。</b></p> <p>多様な領域のボランティア、市民活動の情報をニュースレター、ボード、インターネット等で提供する。 ボランティア活動への参加やNPOの設立・運営についての相談を行う。</p>
<p><b>2 研修・講座を開催し、多様な人たちの参画による市民社会をめざす。</b></p> <p>男女及びシニア、企業人等のボランティア、市民活動への参加促進のための研修を行う。 ボランティア、市民活動の体験プログラムを企画し、介護体験、育児体験など多様な参加促進の機会を提供する。</p>
<p><b>3 男女が人権を尊重し、誰でもが共生する市民社会にむけてネットワークを図る。</b></p> <p>DVやさまざまな偏見などから守る活動をしているボランティア、NPO等と連携を図り、その活動内容や課題等を紹介し、ネットワークを図り、支援する。 地域の中で高齢者、子ども、障害者などが共に過ごす拠点を確保し、それを運営しているボランティアやNPO等の活動別ネットワークを図り、人権の擁護や男女参画による多様な活動を推進する。</p>
<p><b>4 子どもたちがボランティア活動等に参加し、地域社会のなかで健全に発達していく機会をつくる。</b></p> <p>子どもたちのボランティア活動への関心を高め、男女の人権や介護、国際理解などの理解を促進する。 教育関係者やボランティア、NPOとの連携、協力のもとで多様な参加機会をつくるシステムを構築する。</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 16 年度取組実績」

16 年度の具体的取組内容	実 績
<p>多様な領域で活動しているボランティアやNPO等の情報を提供するため情報誌「ネットワーク」を毎月発行する。 ホームページ「ボラ市民ウェブ」で随時情報提供する。 ボランティア活動等への参加に対する相談を随時おこない参加の促進を図る。</p>	<p>情報誌「ネットワーク」を4回発行した。内容を充実するために、新装「ネットワーク」準備号を発行した。 ホームページ「ボラ市民ウェブ」で随時情報の提供。アクセス数約15万件 ボランティア活動等への参加の相談を随時おこなうとともに、NPOに関するガイダンスを開催。 また、経理、運営等のマネジメントのコンサルテーションをおこなう。</p>
<p>ボランティア活動やNPO等の入門講座を開催する。 企業に働いている勤労者に対してボランティア活動体験プログラムを提供する。 中高年層を対象にボランティア活動やNPへの情報提供と体験プログラムのシステムの構築をおこなう。</p>	<p>ボランティア、NPO等の入門講座を開催し、また、市町村2箇所のセンターと協働し開催して、より多くの都民の参加を図った。 企業と協働開催し、企業に働く人たちにボランティア活動体験促進した。 中高年層をはじめとしたNPOに関心のある人に対して、インターネットでNPOを紹介する「つなぎi」を開設した。</p>
<p>DVによる被害者を支援しているNPO等を支援し、IT講習を通したネットワークを図る。 子育てしている親を支援する拠点「協働空間」を渋谷区内に開設しモデル的におこなう。 子育て、ミニデイ、グループホーム等を行っているNPO等の情報交換などを中心とした研究協議会を開催する。</p>	<p>DV被害者の社会復帰を図る目的のIT講習を行うNPOを支援してきた。企業と協働で次年度から新たな体制で実施を図る。 地域の中のたまり場「協働空間」を渋谷区内に設置し、精神障害者の支援を町内会及び保健婦、関係者による支援をモデル的に実施した。 子育てに悩む親を支援しているNPOの協力を得て、親のヒヤリング調査や地域のなかにおける支援システムを研究した。</p>
<p>「総合的学習の時間」などを通したボランティア学習を推進するため、モデル地区的実施を行う。 夏休みを中心として「夏体験ボランティア」を都内ボランティアセンターと協働して開催する。 学校におけるボランティア活動を促進するために福祉教育フォーラムを開催する。</p>	<p>「総合的学習の時間」を通してボランティア学習を実施している学校の協力を得て、2地区において連絡・研究をおこなってきた。 「夏、体験ボランティア」を都内ボランティアセンターと連携し、体験ボランティアプログラムを提供し、約4千人の参加意を得た。 教育関係者、ボランティアセンター関係者、ボランティアの参加を得て、学習の進め方の課題等について教育フォーラムで研究協議をおこなった。</p>